

2003 年春季年会

年会プログラム

於 東北大学

2003 年 3 月 24 日 (月) ~ 3 月 26 日 (水)

日 本 天 文 学 会

<年会プログラムは、取り外せます。>

日本天文学会 2003 年春季年会プログラム

場 所 東北大学川内北キャンパス (案内図参照)
 〒 980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 東北大学構内
 電話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2003 年 3 月 23 日 (日) ~ 3 月 26 日 (水) >

日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
3月23日 (日)							記者会見					
							公開講演会					
3月24日 (月)	A		N. 恒 星			(理事会) 昼休み	ポスタ	N. 恒 星			ALMA 特別 セッション	
	B		M. 太 陽					M. 太 陽				
	C		R. 銀 河					R. 銀 河				
	D		Q. 星 間					Q. 星 間				
	E		S. 銀 河 核					S. 銀 河 核				
	F		L. 太 陽 系					L. 太陽系/K. 天力				
	G		T. 銀 河 団					T. 銀河団/X. 情報				
3月25日 (火)	A		N. 恒 星			ポスタ	(評議員会) 昼休み	N. 恒 星			総会 総会 研究会 懇親会	
	B		M. 太 陽					M. 太陽/Y. 教育				
	C		R. 銀 河					R. 銀 河				
	D		Q. 星 間					P. 星・惑星				
	E		V. 地 上 観					V. 地 上 観				
	F		W. 飛 翔 観					W. 飛 翔 観				
	G		U. 宇 宙 論					U. 宇 宙 論				
3月26日 (水)	A		N. 恒 星			ポスタ	昼 休 み	N. 恒 星			天文教育 フォーラム	
	B		A. 光 赤 外					A. 光 赤 外				
	C		R. 銀 河					P. 星・惑星				
	D		P. 星・惑星					V. 地上観				
	E		V. 地 上 観					W. 飛翔観				
	F		W. 飛 翔 観					ジュニア				
	G		ジュニアセッション									

- A 会場 : B101 (B棟1F)
- B 会場 : B102 (B棟1F)
- C 会場 : B104 (B棟1F)
- D 会場 : B103 (B棟1F)
- E 会場 : B201 (B棟2F)
- F 会場 : B202 (B棟2F)
- G 会場 : B204 (B棟2F)

- 受 付 : 談話室 (B棟1F)
- ポスタ-会場 P1 : 自習室 (B棟2F)
- ポスタ-会場 P2 : A205 (A棟2F)
- ポスタ-会場 P3 : A202 (A棟2F)
- ポスタ-会場 P4 : A201 (A棟2F)
- 総 会 会 場 : A200 (A棟2F)
- 会 議 室 1, 2 : A103, A102 (A棟1F)
- 懇 親 会 会 場 : 生協食堂

◎講演数

講 演 数 : 合計 538

(口頭講演 (a) : 314、ポスタ-講演 (b) : 155、ポスタ-講演 (c) : 69)

◎参加費用

	会員	非会員	
基本登録料	3,000円	5,000円	会員は1講演の登録料を含む
講演登録料	0円	5,000円	
追加講演登録料	3,000円	5,000円	追加1講演につき
年会予稿集	2,000円	2,000円	購入希望者のみ

※基本登録料・講演登録料・追加講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は7会場で行います。口頭講演（添字 a）は、口頭発表9分、質疑応答3分です。ポスター講演（添字 b）は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表（添字 b）、（添字 c）は、3日間掲示できます。ポスターは縦180×横90cmまで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、3月24日の9:30から3月26日の13:00まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演にはOHPをご使用下さい。（ビデオ、液晶プロジェクターの使用については、事前に申し込みが必要です。）

◎会期中の行事

1. 記者会見：23日（日）13:30～ 仙台国際センター
学会講演の中から、3～4のトピックスを選び、記者会見を行います。
2. 公開講演会：23日（日）14:00～16:30 仙台国際センター
3. 理事会：24日（月）12:00～13:00 会議室
4. ALMA 特別セッション：24日（月）16:00～18:00 A200（A棟2F）
5. 評議員会：25日（火）12:30～13:30 会議室
6. 総会：25日（火）15:30～17:00 A200（A棟2F）
(15:30～16:00 総会出席者確認、16:00 総会開始)
各賞の授賞
主な議題 = ○ 2002年度事業報告
○ 2002年度決算報告
○ 監査報告
7. 研究奨励賞受賞記念講演：25日（火）17:00～18:00 A200（A棟2F）
「おうし座分子雲における「星のない分子雲コア」の観測的研究」 大西利和（名大理・助手）
「銀河団の多波長観測を用いた宇宙論」 北山 哲（東邦大理・講師）
「惑星系の起源解明へ向けて」 小久保英一郎（国立天文台・助手）
8. 懇親会：25日（火）18:30～ 生協食堂
9. 教育フォーラム：26日（水）14:00～15:30 C会場

◎ ALMA 特別セッション

「ALMA で探る宇宙-星間物質：初期宇宙から原始惑星系まで-」

主催：日本学術会議天文学研究連絡委員会
日本学術会議天文学国際共同観測専門委員会
日本学術会議電波科学研究連絡委員会 J 分科会
日本天文学会
国立天文台電波専門委員会 ALMA 計画推進小委員会

日時：2003年3月24日(月) 16:00～18:00

場所：A200 (A棟2F)

概要：アルマ (ALMA = Atacama Large Millimeter/submillimeter Array; アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計) 計画は、日本・北アメリカ・ヨーロッパによる共同建設・共同運用を目指し、予算措置で先行する北アメリカ・ヨーロッパによる建設が開始されようとしています。日本の建設参加はその装置性能に著しい向上をもたらすことから欧米からも強く望まれており、2004年からの参加実現を目指した各方との折衝が国内外で進められています。

本特セッション「ALMA で探る宇宙」では、アルマ計画の最新の進捗状況を報告するとともに、ALMA で実現される高感度、高空間分解能、サブミリ波という周波数の窓、が日本および世界の研究にどのような新展開をもたらすかを考えます。これまで、星・惑星系形成 (2001年春季年会)、銀河の形成と進化 (2001年秋季)、活動的銀河中心核 (2002年春季) を取り上げてきましたが、今回はアルマのもう一つのキーサイエンスである分光観測による宇宙物質の進化の研究を取り上げます。あわせて、日本が計画し準備を進めている赤外線観測衛星など、他波長の将来装置とアルマとの連携についても考えたいと思います。

- プログラム：1. あいさつ (天文研連委員長 名古屋大学大学院理学研究科 池内 了)
2. 日本天文学会の取り組み (日本天文学会理事長 神戸大学理学部 松田卓也)
3. ALMA 計画の現状と今後 (国立天文台 石黒正人)
4. ALMA で解き明かす星・惑星系形成環境下での物質進化
-サブミリ波超高感度分光観測がもたらすインパクト-
(神戸大学理学部 相川祐理)
5. 赤外線天文衛星と ALMA で探る星間物質 (宇宙科学研究所 中川貴雄)
6. 総合討論

世話人：池内 了 (天文研連委員長、名古屋大学大学院理学研究科)
長谷川哲夫 (天文研連委員、国立天文台)
松尾 宏 (国立天文台)
百瀬 宗武 (茨城大学理学部)

連絡先：松尾 宏 <h.matsuo@nao.ac.jp>
国立天文台 電話 0422-34-3915

◎天文教育フォーラム

共催：天文教育普及研究会

テ ー マ : 「21世紀型科学教育の創造

–プラネタリウム館・公開天文台の社会的役割–」

日 時 : 2003年3月26日(水) 14:00～15:30

場 所 : C会場

概 要 : 20世紀の科学はその範中で自己完結している「知識のための科学」であった。しかし、21世紀は様々な社会の分野と関係しあい「社会の中の、社会のための科学」であることが重要と考えられる。そのために、生涯学習施設としてのプラネタリウム館・公開天文台は、社会と科学の掛け橋として地域に位置付けられ、自己評価とそれに基づいた改善策を実施する必要がある。本フォーラムにおいては、国内外の科学教育・普及の状況や事例および調査結果を紹介するとともに、天文分野における「21世紀型科学教育の創造」をめざし、広範な意見交換を試みたい。

内 容 : 1. 「科学教育の現状と学会への要望」黒田武彦(西はりま天文台)

2. 「総合的な学習の時間への対応 –プラネタリウム館・公開天文台へのアンケート調査より–」山田陽志郎(JPSホームページ委員)

3. 「海外の自然科学系生涯学習施設の現状」

伊東昌市(杉並区立科学館)・縣秀彦(国立天文台)

4. 総合討論

参 加 費 : 天文教育フォーラムのみの参加者は、参加費(年会基本登録料)は不要です。年会受付で、その旨お伝え下さい。

実 行 委 員 : 沢 武文(愛知教育大)、山縣朋彦(文部科学省)

濱根寿彦(ぐんま天文台)、中村泰久(福島大学)

問い合わせ先: 沢 武文(愛知教育大) tsawa@aeu.ac.jp

◎日本天文学会公開講演会

共催：仙台市天文台

テ ー マ : 「21世紀の天文学を楽しむ」

日 時 : 2003年3月23日(日) 14:00～16:30 (13:30開場)

場 所 : 仙台国際センター

対 象 : 中学生以上・一般向け

講 演 I : 宇宙の歩き方

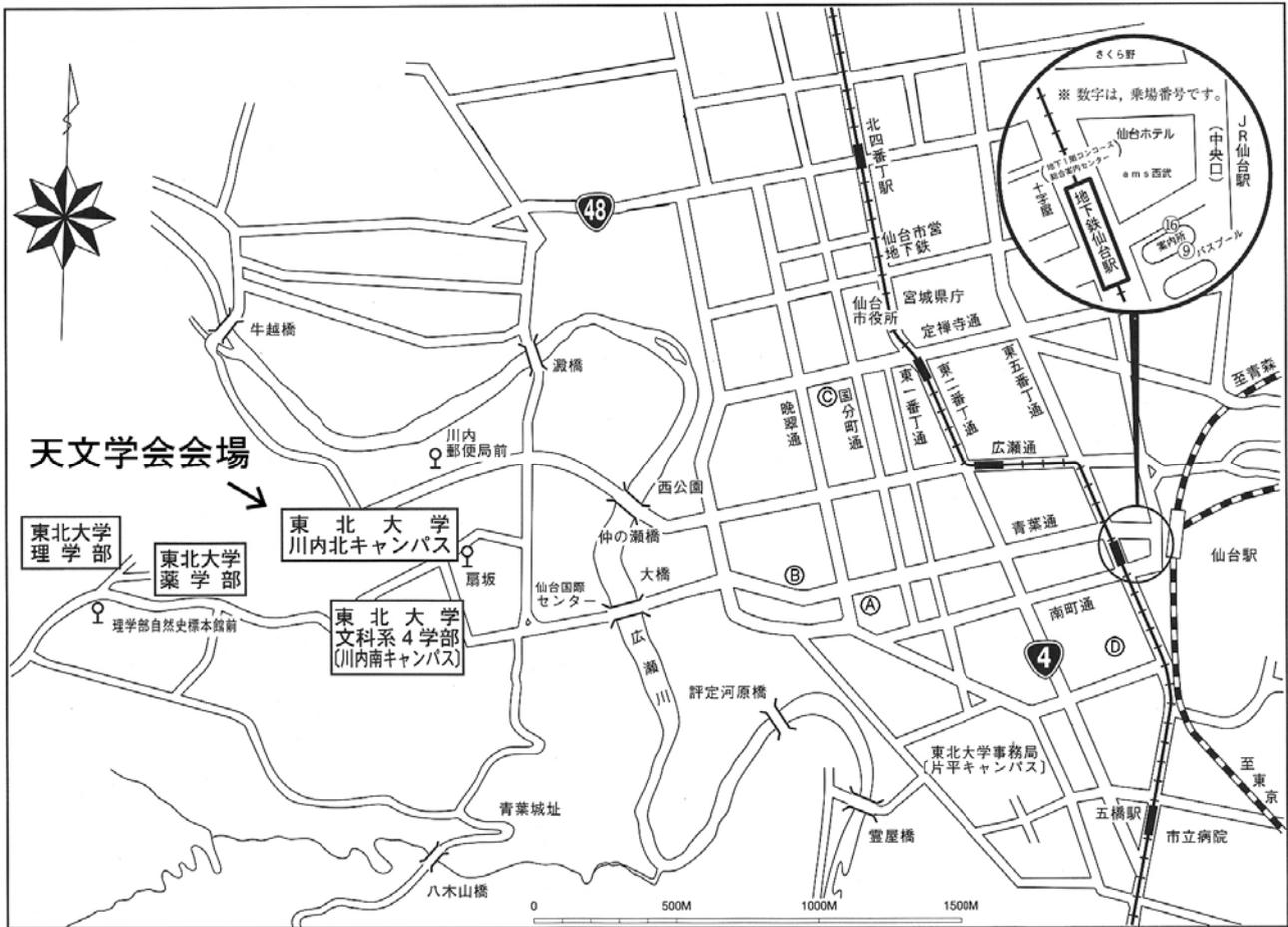
講 演 者 : 黒田武彦(西はりま天文台)

講 演 II : 宇宙の読み方

講 演 者 : 海部宣男(国立天文台・台長)

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。

春季年会会場（東北大学）のご案内



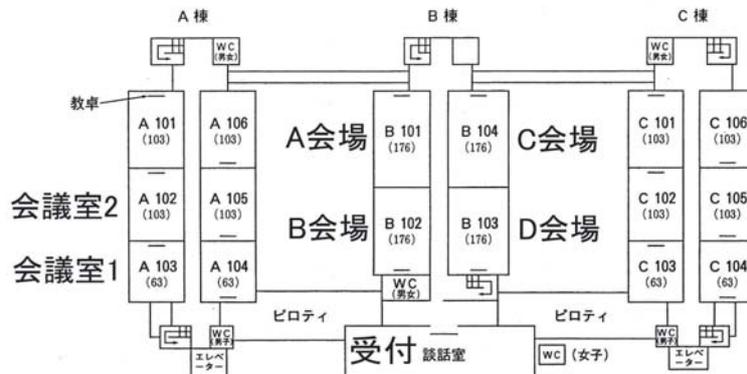
交通案内

仙台駅西口バスプール 番乗り場
 「青葉城址循環」「宮教大」「青葉台」行乗車、「扇坂」下車（約14分）

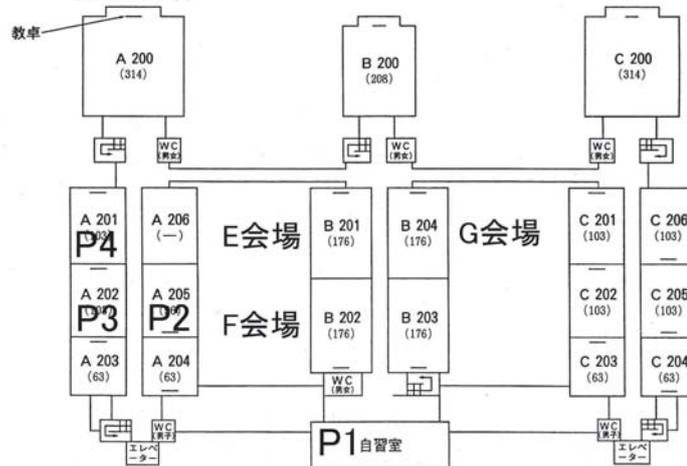
仙台駅西口バスプール 番乗り場
 「交通公園（広瀬通経由）」行乗車、「川内郵便局前」下車（約20分）

年会会場案内図

(東北大学川内北キャンパス)



特別セッション 総会会場



ポスター会場²階(P1,P2,P3,P4)

口頭セッション 3月24日(月)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
	【恒 星】	【太 陽】	【銀 河】	【星 間】	【銀河核】	【太陽系】	【銀河団】
10:00	N01a	M01a	R01a	Q01a	S01a	L01a	T01a
10:12	N02a	M02a	R02b - R04b	Q02a	S02a	L02a	T02a
10:24	N03a	M03a	R05b - R07b	Q03a	S03a	L03b - L05b	T03a
10:36	N04a	M04a	R08b - R10b	Q04a	S04a	L06a	T04a
10:48	N05a	M05a	R11b - R13b	Q05b - Q07b	S05a	L07a	T05a
11:00	N06a	M06a	R14a	Q08b - Q10b	S06a	L08a	T06b - T08b
11:12	N07a	M07a	R15a	Q11b - Q13b	S07a	L09a	T09a
11:24	N08a	M08a	R16a	Q14b - Q16b	S08a	L10a	T10a
11:36	N09a	M09a	R17a	Q17b	S09b - S11b	L11b - L13b	T11a
11:48	N10b - N12b	M10b - M12b	R18a		S12b - S14b	L14a	T12a
12:00	N13b - N15b	昼休み					
13:00	ポスター						
	【恒 星】	【太 陽】	【銀 河】	【星 間】	【銀河核】	【太陽系】	【銀河団】
14:00	N18a	M13a	R19a	Q21a	S15a	L15a	T13a
14:12	N19a	M14a	R20a	Q22a	S16a	L16b - L18b	T14a
14:24	N20a	M15a	R21a	Q23a	S17a	L19b, L20b	T15a
14:36	N21b - N23b	M16a	R22a	Q24a	S18a	【天 力】 K01a	T16a
14:48	N24a	M17a	R23a	Q25a	S19a	K02a	T17a
15:00	N25a	M18a	R24a	Q26a	S20a	K03a	T18b - T20b
15:12	N26a	M19a	R25a	Q27a	S21a	K04b, K05b	【情 報】 X01a
15:24	N27a	M20a	R26a	Q28a	S22a		X02a
15:36	N28a	M21a	R27a	Q29a	S23a		X03b - X05b
15:48	N29a	M22b - M24b	R28a	Q30a			X06b
16:00	N30b, N31b	M25b	ALMA特別セッション (A 200)				

口頭セッション 3月25日(火)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
09:30	【恒星】 N35a	【太陽】 M28a	【銀河】 R29a	【星間】 Q31a	【地上観】 V01a	【飛翔観】 W01a	【宇宙論】 U01a
09:42	N36a	M29a	R30a	Q33a	V02a	W02b - W04b	U02a
09:54	N37a	M30a	R31a	Q34a	V03a	W05a	U03a
10:06	N38a	M31a	R32a	Q35a	V04a	W06a	U04a
10:18	N39a	M32a	R33a	Q36a	V05a	W07b - W09b	U05a
10:30	N40a	M33a	R34a	Q37a	V06b - V08b	W10b - W12b	U06a
10:42	N41a	M34a	R35a	Q38a	V09b - V11b	W13a	U07a
10:54	N42a	M35a	R36a	Q39a	V14a	W14a	U08b - U10b
11:06	N43a	M36a	R37a	Q40a	V15a	W15a	U11b - U13b
11:18	N44a	M37a	R38a	Q41a	V16a	W16b, W17b	
11:30	ポスター						
12:30	昼休み						
13:30	【恒星】 N47a	【太陽】 M38a	【銀河】 R39a	【星・惑星】 P01a	【地上観】 V17a	【飛翔観】 W18a	【宇宙論】 U14a
13:42	N48a	M39a	R40a	P02a	V18b - V20b	W19a	U15a
13:54	N49a	M40a	R41a	P03a	V21b - V23b	W20a	U16a
14:06	N50a	【教育】	R42a	P04a	V24b, V25b	W21a	U17a
14:18	N51a	Y01a	R43a	P05a	V26a	W22a	U18a
14:30	N52a	Y02a	R44a	P06a	V27b - V29b	W23a	U19a
14:42	N53a	Y03a	R45a	P07a	V30a	W24a	U20a
14:54	N54a	Y04a	R46a	P09b - P11b	V31b - V33b	W25b - W27b	
15:06	N55a	Y05b - Y07b	R47a	P12b - P14b	V34b - V36b	W28a	
15:18	N56a	Y08b - Y10b	R48a	P15b - P17b	V37b - V39b	W29a	
15:30	総会 (A 200) (15:30~16:00 総会出席者確認)						
17:00	研究奨励賞受賞記念講演						
18:00	懇親会 (生協食堂)						
18:30							

口頭セッション

3月26日(水)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
09:00	【恒星】 N60a	【光赤外】	【銀河】 R49a	【星・惑星】 P20a	【地上観】 V43a	【飛翔観】 W30a	ジュニアセッション
09:12	N61a	A01a	R50a	P21a	V44a	W31a	
09:24	N62a	∩	R51a	P22a	V45a	W32a	
09:36	N63a	A08a	R52a	P23a	V46a	W33a	
09:48	N64a		R53a	P24a	V47b - V49b	W34a	
10:00	N65a	A09b	R54a	P25a	V50b - V52b	W35a	
10:12	N66a	∩	R55a	P26a	V57a	W36a	
10:24	N67a	A13b	R56a	P27a	V58a	W37b - W39b	
10:36	N68a		R57a	P28a	V59a	W40a	
10:48	N69b - N71b		R58b - R60b	P29a	V60a	W41a	
11:00	N72b, N73b				V61a V62a	W43a	
ポスター							
12:00	昼休み						
13:00	【恒星】 N74a	【光赤外】	/	【星・惑星】 P30a	【地上観】 V63a	【飛翔観】 W44a	ジュニアセッション
13:12	N75a			P31a	V64a	W45a	
13:24	N76a	A14a		P32a	V65a	W46a	
13:36	N77a	∩		P33a	V66a	W47a	
13:48	N78a	A21a		P34a	V67a	W48a	
14:00	N79a						
14:12	N80a						
14:24	N81a						
14:36	N82a						
14:48	N83a						
15:30	天文教育フォーラム (C会場)						

<会場 P1>

- 【光赤外】 (7)
 A09b, A10b, A11b, A12b, A13b,
 A22c, A23c
- 【太陽系】 (18)
 L03b, L04b, L05b, L11b, L12b,
 L13b, L16b, L17b, L18b, L19b,
 L20b, L21c, L22c, L23c, L24c,
 L25c, L26c, L27c
- 【星・惑星形成】 (13)
 P08c, P09b, P10b, P11b, P12b,
 P13b, P14b, P15b, P16b, P17b,
 P18c, P19c, P35c,
- 【星間現象】 (17)
 Q05b, Q06b, Q07b, Q08b, Q09b,
 Q10b, Q11b, Q12b, Q13b, Q14b,
 Q15b, Q16b, Q17b, Q18c, Q19c,
 Q20c, Q32c,
- 【活動銀河核】 (15)
 S09b, S10b, S11b, S12b, S13b,
 S14b, S24c, S25c, S26c, S27c
 S28c, S29c, S30c, S31c, S32c
- 【地上観測機器】 (41)
 V06b, V07b, V08b, V09b, V10b,
 V11b, V12c, V13c, V18b, V19b,
 V20b, V21b, V22b, V23b, V24b,
 V25b, V27b, V28b, V29b, V31b,
 V32b, V33b, V34b, V35b, V36b,
 V37b, V38b, V39b, V40c, V41c,
 V42c, V47b, V48b, V49b, V50b,
 V51b, V52b, V53c, V54c, V55c,
 V56c
- 【飛翔体観測機器】 (18)
 W02b, W03b, W04b, W07b, W08b,
 W09b, W10b, W11b, W12b, W16b,
 W17b, W25b, W26b, W27b, W37b,
 W38b, W39b, W42c

【PDL】

【最新情報コーナー】

<会場 P2>

- 【太陽】 (9)
 M10b, M11b, M12b, M22b, M23b,
 M24b, M25b, M26c, M27c
- 【恒星】 (30)
 N10b, N11b, N12b, N13b, N14b,
 N15b, N16c, N17c, N21b, N22b,
 N23b, N30b, N31b, N32c, N33c,
 N34c, N45c, N46c, N57c, N58c,
 N59c, N69b, N70b, N71b, N72b,
 N73b, N84c, N85c, N86c, N87c

<会場 P3>

- 【銀河】 (22)
 R02b, R03b, R04b, R05b, R06b,
 R07b, R08b, R09b, R10b, R11b,
 R12b, R13b, R58b, R59b, R60b,
 R61c, R62c, R63c, R64c, R65c,
 R66c, R67c
- 【銀河団】 (6)
 T06b, T07b, T08b, T18b, T19b
 T20b
- 【宇宙論】 (7)
 U08b, U09b, U10b, U11b, U12b,
 U13b, U21c

<会場 P4>

- 【天体力学】 (2)
 K04b, K05b
- 【情報処理】 (5)
 X03b, X04b, X05b, X06b, X07c,
- 【天文教育・その他】 (14)
 Y05b, Y06b, Y07b, Y08b, Y09b,
 Y10b, Y11c, Y12c, Y13c, Y14c,
 Y15c, Y16c, Y17c, Y18c

【ジュニアセッション】 (14)